

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2016 No. 42

inaokigakuen news letter



第33回全日本少年軟式野球大会
星稜中学校野球部優勝!!

特集

活躍する生徒・学生たち

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

Amitié Seiryō 〜星稜の友〜

『親業』支援コラム「オトナのミカタ」

総合研究所・地域連携センターだより

星稜 Information

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中!

詳しくはP14をご覧ください

学園では、数多くの生徒・学生が活躍しています。今回はその中から2団体と2名の学生たちを紹介します。

星稜中学校野球部 9年ぶり3度目の全国制覇！

星稜中学校野球部は横浜スタジアムで開催された全日本少年軟式野球大会で9年ぶり3度目の優勝を果たしました。この大会は都道府県の選抜チームや地域のクラブチームも参加する、最もレベルの高いチームを決める大会となっています。そんな中で見事優勝を掴みとり、全国中学校軟式野球大会を含め、史上最多6度目の全国制覇を成し遂げました。

ピンチをしっかりと守り、
ワンチャンスを逃さない

中西 恒晴 主将(以下、中西) 地方大会の予選から決勝戦まで一戦一戦に集中していたので、優勝した瞬間も正直、日本一になったという実感がほとんどありませんでした。地元・金沢に帰ってきて、本当にたくさんの方々に応援していただいていたことを再認識し、ようやく日本一になった実感が湧いてきました。
田中 辰治 監督(以下、田中) 優勝までの道のりは、決して平坦では



星稜中学校 野球部 田中 辰治 監督、中西 恒晴 主将

ありませんでした。全国大会のスコアだけ見れば、1回戦の地元横須賀ファイターズ(神奈川県)に4-0、準々決勝の久保中学校(東海)に3-2、準決勝の茨城オール県南(関東)に4-0、決勝は倉敷クラブ(中国)に6-1と比較的楽に勝ち上がってきたように思われますが、どの試合もちよとした油断で負けていてもおかしくなかったと今でも思っています。ピンチをしっかりと守り切り、ワンチャンスを逃さず得点に結びつける、普段通りの星稜野球ができたことが勝因です。

中西 振り返ってみると、当たり前にやることの難しさを一番感じたのが、金沢市予選の2試合目となった大徳中学校との試合でした。久々の公式戦でなかなか自分たちのプレーが思うようにできず、試合への準備や心構えの大切さを痛感させられました。苦戦しながらも何とか勝利を収め、これがチームの大きな自信になり、その後の戦いに勢いが付いたと思います。ただキャプテンとしてチー

ムを一つにまとめることには随分苦労しました。

田中 お人よしで優しい子が多いチームだったので、練習では勝負ごとの厳しさを教えるように心掛けました。「守り勝つ」をチームの合言葉にしていたので、ノックでは選手一人ひとりの力量や気力を見ながら限界まで追い込み、精神面を徹底的に鍛え上げました。

日本一を確信した 宿舎周辺のゴミ拾い

田中 遠征先で生徒たちが早朝に宿舎の周辺を歩きながらゴミ拾いをしている姿を目にした時、生徒たちの成長を感じると同時に「このチームは必ず全国制覇できる」と確信した瞬間でもありました。た

だ決勝戦の前夜はさすがに自分も緊張してきて、気がつけば山下智茂総監督に電話でアドバイスを求めていました。「今は富士山の八合目まで来た。ここからの一歩はしんどいぞ。でもみんなですっかり手をつないで一歩ずつ登れば、必ず頂上に辿りつける。頑張れ」。この言葉を試合前に選手はもちろん、保護者にも伝えると、チームの気持ちが

がちつと一つにまとまり、決勝戦も普段通りの星稜野球を貫くことができました。「日本一になることができました。中西「人間性も野球も日本一を目指す」が星稜中学校野球部のモットーです。新チームもこの伝統をしっかりと受け継ぎ、連覇できるように卒業まで自分も後輩たちの練習をサポートしていきたいと思っています。



星稜高等学校野球部 2年ぶり18回目の甲子園出場！

この夏、2年ぶり18回目の甲子園出場を果たした星稜高等学校野球部。甲子園では11安打を放ちながら再三のチャンスを活かせず、惜しくも初戦敗退となりました。しかし、石川県大会の決勝で見せた終盤の逆転劇が一昨年の8点差を9回に大逆転した決勝の感動を呼び起こし、最後まで諦めない「粘りの星稜」という強烈なイメージを残しました。

ミーティングを増やし、常に気持ちを一つに

林和成監督(以下:林)今年のチームの3年生は、一昨年の小松大谷高校との決勝の大逆転で甲子園出場を決めたチームと、タイトルをとれなかった昨年のチームを見てきたので、チームづくりの大切さを肌で感じていたことが一番大きかったように思います。キャプテンを中心としたチームワークのよさが技術面で足りない部分をうまくカバーし、甲子園出場を掴み取りました。



星稜高等学校 野球部 虎谷 貴哉 主将、林 和成 監督

虎谷 貴哉主将(以下:虎谷)自分

はプレーでみんなを引っ張っているようなタイプではなかったの、みんなが納得するまでとことん話し合い、一人ひとりが自分の役割をしっかりと認識できるよう徹底的に努めました。具体的には、練習後に選手間でミーティングをするのが慣例となっていたのですが、練習前にもミーティングを取り入れ、今日やるべきことを選手同士で毎日確認するようにしていました。また、練習中でも不甲斐ないプレーが目についたり、ミスが続いたりすれば、即座に選手全員で集まり、ミーティングを行うようにもしていました。

林 昼休みはキャプテンとその日の練習メニューや部員たちの調子

などを話すのが日課となるほど、今から思えばキャプテンとは夫婦以上にコミュニケーションをとっていましたね(笑)。その中で自分が直接選手たちに伝えるよりも、選手の気持ちに近いキャプテンを通じて伝えてもらうことが大切だと気づかせられることもありました。虎谷 チームの一球一球にかける

思いの強さと高い集中力が、春の北信越大会の22年ぶりの優勝という結果にも結びつきました。とりわけ下級生に力のある選手が多かったのも、彼らが伸び伸びプレーできるようグラウンドに立っていない3年生部員が率先して後輩たちに声を掛け、何でも言い合えるチームの雰囲気づくりに力を注いしてくれたことも優勝の大きな要因だったと思います。

下級生が本塁打を量産 石川県大会新記録を樹立

林「この3年生のために何としても甲子園に行きたい」という下級生の強い気持ち、夏の石川県大会では爆発しました。下級生だけで6本塁打を放ち、合計9本塁打とこれまでの石川県大会の記録を大きく塗り替えました。投手陣も下級生が中心となって引っ張り、試合ごとに成長する姿に3年生も刺激を受け、その相乗効果がここ一番の場面での力を生み、日本航空石川高校との決勝戦でも3点ビハインドの終盤の逆転にもつながりました。残念ながら甲子園では本来の粘り強さを発揮できませんでしたでしたが、力の差がなくても甲子園で勝つことの難しさを学び、必ず次につながる意味のある敗戦だったと思っています。県大会、甲子園とたくさんの方々

温かなご支援をいただき、本当にありがとうございます。虎谷 星稜高校の野球部で学んだチームワークの大切さと最後の最後まで諦めない姿勢をこれからの人生でも活かしていきたいと思っています。新チームは技術的に優

れ、仲間を思いやれる選手がそろっているのも、甲子園でも勝ち上がるチームになると信じています。振り返れば、たくさんの方の応援が実力以上の力を生み出す源となっていました。ありがとうございました。



学園初!! 在学生のオリンピック選手誕生

金沢星稜大学人間科学部スポーツ学科1年次中野蘭菜さんが、8月にブラジル・リオデジャネイロで行われたオリンピック(トランポリン競技)に出場しました。

金沢市生まれの中野さんは、4歳の頃にトランポリンと出会いまし
た。星稜高等学校時代には国内外の大会で好成績を収め、国内有数の
トランポリン選手として注目を浴びるようになりました。当時の目標
は2020年の東京オリンピック出場ということでしたが、今年4月
にブラジルで開催されたリオデジャネイロオリンピック最終予選で
国別3位となり代表の座を獲得。オリンピック出場という目標を4年
早く達成しました。

稲置学園設置校の卒業生や教員のオリンピック出場は過去に何度も
ありますが、在学生としての出場は初めてのことでした。

学園より三人が リオデジャネイロへ

中野さんは選手としてオリ
ンピックに出場しましたが、星稜高
等学校西川明大先生が日本オリ
ンピック委員会から派遣され、二



奥田 鉄人 人間科学部教授
ブラジル・リオデジャネイロ大会へ、JOC(日本オリンピック
委員会)より水泳競技選手団ドクターとして派遣参加。

人で競技に臨みました。

中野さんの演技中、画面中央で
西川先生がサポートする姿をテ
レビで目にした方も多いと思っ
ます。

もう一人は金沢星稜大学人間
科学部スポーツ学科教授の奥田
鉄人先生。奥田先生は水泳競技の
ドクターとしての参加でした。縁
の下の力持ちとして日本選手団
を支え、競泳やシンクロではメダ
ル獲得につながりました。選手村
では三人で顔を合わせたそうで、
選手である中野さんにとって心強
いことだったでしょう。

世界最高峰の舞台の厳しさ

世界で選ばれた16名しか出場
できない女子トランポリン。中野
さんは第1演技で得点が伸びず

16位という結果でした。ほんの少
しのミスが致命傷となる世界最
高峰の舞台の厳しさを知ること
となりました。

しかし、第2演技では気持ちを
切り替え難度の高い技に挑戦し、
項目別スコアでは5位にあたる高
得点を得ました。両演技のトータ
ルである最終結果は13位。リオデ
ジャネイロでの最終演技となった
第2演技は、4年後の東京オリ
ンピックへの手応えを感じさせるす
ばらしい演技でした。

4年後に向けさらなる飛躍を

大会前はマスコミや各種団体に
ひっぱりだこ。日本から40数時間
の長旅。金沢での日常とは違う食
事や気候。様々な経験を経て臨
んだオリンピックは、中野さん
にとって大きな糧となり、次なるス
テップへの第一歩となったこと
でしょう。

帰国早々に東北で行われた国
内大会に出場するなど、ゆっくり
休む暇が無かった大学1年生の
夏。4年後の東京オリンピックは
大学を卒業している年となります
が、学生時代のトレーニングとス
ポーツ学科での専門的な学びを活
かし、上位入賞を期待いたします。



世界ろう者陸上競技選手権大会で1500m優勝 来夏のデフリンピックを目指す

6月25日〜7月3日にブルガリアで行われた第3回世界ろう者陸上競技選手権大会において、中距離1500m日本代表として出場した本学の森光佑矢さんが3分54秒11で優勝し、自身の持つ日本ろう記録を更新しました。これにより、森光さんは来夏にトルコで開催されるデフリンピックへの出場が濃厚になりました。

―優勝おめでとうございます。
レース内容を振り返って
いかがですか？

スタートした時点では3、4番手だったのですが、終盤のスピード勝負に持ち込めば勝てるという自信はあったので、戦略通りのレース展開になったと思います。でも正直、ゴールした瞬間は優勝したという実感はなかったですね。国際大会ですから、長身でストライド走法の選手、小柄な体型を活かしたピッチ走法の選手と、さまざまな持ち味の選手が集まっています。その中で少し自分のリ

ズムが崩れて焦った瞬間もありました。

―自身の持つ日本ろう記録を
5秒09更新する
素晴らしいタイムでした。
勝因は何でしょうか。

勝因を3つ挙げるとすれば、「信念」「努力」「継続」です。根本にあるのは「勝つ」という信念です。この信念を貫いて目標を実現するために、コーチとともに年間計画を立て、努力してきました。努力は継続することが重要です。たとえばその日の練習の疲れをいかにケアして翌日に持ち越さないか、といった技術も求められます。

―帰国後、周りの人の反応は
いかがでしたか？

大学の友人がお祝いをしてくれましたし、いろんな人から声をかけてもらいました。県知事、市長を表敬訪問する機会もありました。高知の実家では、家族や高校時代の友人、先生が集まって僕

抜きの祝賀会を開いてくれたようです。

―大会に向けて
調子を整えるために
取り組んだことは
ありますか？

実は大会前、ケガのために、2カ月間走ることができなかったんです。大会に間に合わないのではと不安に駆られたことはもちろんですが、同時にがむしやらに走るのではなく、自分自身の体と向き合って戦略的にトレーニングを組み立てていくことの大切さに気付くことができました。復帰してからは、コーチと相談して量よりの質の練習を行うようになりました。食事も大事です。大会直前は、体内のグリコーゲンの量を増加させて持久力を伸ばすために高糖質食に切り替えました。これは大学の授業で学んだことです。

―今後の目標を
教えてください。

来夏にはトルコでデフリンピックが開催されます。ブルガリア大会には参加しなかったケニア、アメリカの強豪選手が出場するハイレベルの争いになりますが、その中で3位入賞を目指します。や

はりオリンピック経験者のコーチ陣に直接指導してもらえ、本学陸上部の環境は恵まれていると実感しています。
また、記録を出したり優勝したりと結果を出せたときはもちろんですが、走ること自体が楽しいので、これからも走り続けていきたいです。

森光佑矢さん

金沢星稜大学
人間科学部スポーツ学科3年次

高知県・高知ろう学校出身。高校時代に全国聾学校陸上競技大会で800m、1500mの2種目で三連覇を達成。ブルートラックに憧れて本学に入学。





金沢星稜大学女子短期大学部

横野 成美 准教授

**キャンパスの国際化が進む星短で
英語コミュニケーション力を磨いて。**

私は大学を出てからずっと英語教育に携わっています。もともとは高校の教員だったのですが、受験のための日本の英語教育に限界を感じて退職。その後、通訳の仕事と金沢星稜大学の非常勤講師を兼務し、今年度から女子短期大学部の准教授に就任しました。

授業は基本的に英語で行います。最初はこのスタイルに戸惑う学生もいましたが、だんだんと慣れて笑顔も見られるようになり、最近実施したアンケートでは前向きな意見が多かったので、嬉しく思っています。

星短では今年度から「国際化ビジョン2021」を掲げ、学内の国際化や学生の海外留学（体験）の促進、外国語教育の充実などに取り組んでいます。特に金沢星稜大学とキャンパスを同じくするメリットを活かし、授業

やゼミ活動を通じて留学生との交流に力を入れています。従来から行っているフリップピン・セブ島を

訪れる研修も、日本や自分を客観的に見て考えることができる絶好の機会となっているのではないのでしょうか。

星短生は度胸があるんですよ（笑）。先日、留学生との交流会を行ったときも、企画段階でいろんなアイデアを出してくれましたし、実際の交流会でも物怖じすることもなく、み

さまざまな出会いを通じて 多様な価値観を身につけてほしい。



キャンパスの国際化にも一役買う横野准教授

な積極的にコミュニケーションを楽しんでいました。

英語は国際化時代を生きるためのツールのひとつです。星短のキャンパスライフは2年という短いものですが、語学力を磨くだけでなく、さまざまな文化的背景を持った人と交流することで、多様な価値観を身につけてほしいと思います。

**英語による出会いを通じて
自分の世界を広げていこう。**

通訳の仕事をしていると、さまざまな人と出会うことができます。これまでの経験で最も印象に残っているのは、政府や武装グループによる徴兵などから子どもたちを守るための啓発活動を行っているChina Keitetsiさんとのお出でです。ウガンダに生まれたChinaさんは、自身が9歳のときにNational Resistance Army (NRA) に強要されて子ども兵となり、過酷な人生を歩んできました。そんな彼女の言葉を通訳するというこ

とは、彼女が生きてきた人生そのものを深く知ることと同義でした。単に言語を他の言語に置き換えるのではない、コミュニケーションの深さ、大切さを改めて実感しました。

金沢星稜大学人文学部では、来年から通訳講座が開講される予定なので、こうした通訳に欠かせない専門知識や技能を学ぶことができます。金沢を訪れる外国人観光客も急増していますし、県では平成37年までに「外国人宿泊者数100万人」とする目標を掲げています。通訳に限らず、英語力、コミュニケーション力を発揮して活躍できる場はどんどん広がっています。



左：元国連事務次長の明石康氏とともに

右：China Keitetsiさんの講演の通訳を務める横野准教授

★ 全国協議会に参加して

金沢星稜大学経済学部経営学科3年次
学生赤十字奉仕団代表 藤井俊輔

私は、東海北陸ブロックの代表の1人として日本赤十字社の本社で行われた、平成28年度青年赤十字奉仕団全国協議会に出席しました。青年赤十字奉仕団への参加及び団員のモチベーションアップ、今後の全国協議会のあり方について話し合いました。各ブロック様々な意見を出し合い、中身の濃い会議を行うことができました。また、他ブロックの方々と交流することができたので、とても有意義な時間を過ごすことができました。

★ 短大 チャリティー募金に参加

8月28日(日)、今年も24時間テレビチャリティーイベントに参加してきました。今年の参加学生数は約50名。夏の終わりの1日という期間ですが、街頭やショッピングモールに立つて、募金活動に協力しました。最後はテレビ金沢本社で、アナウンサーと一緒にフィナーレを飾り、学生一人ひとりがお金のありがたみや、慈善活動の大切さを深く学んだ夏の行事になりました。



★ セイスポ3年ぶりに発刊!

星稜スポーツ新聞(セイスポ)第3号が3年ぶりに発刊されました!今年度は大学初となる、オリンピック出場選手の誕生をはじめ、さまざまなスポーツの大会において学生達が素晴らしい結果や記録を出した年になりました。

新聞の記事は前期分をまとめた試合結果や、各クラブ・サークルのスポーツ情報が載っています。6人の体育会所属学生によって製作され、多くの在学生に行き渡りました。星稜スポーツ新聞はオープンキャンパスでも配布予定です。次回号は今冬発刊予定!お楽しみに!



★ 短大 学内にフードバスがやってきました!

2016年度前期、移動販売車(フードバス)が学内にやって来ました!企画してくれたのは、ジャンプチャレンジ企画「SCLP(Seiryō Courtyard Lunch Project)」に所属する学生達です。星大・星短のランチタイムを充実させるために、フードバスを定期的に呼んで、ランチのバリエーションを増やそうという目的で立ち上がりました!商品としては、クレープ・ピザ・カレー・たこ焼きなどが、週に1度のペースで販売されております。



★ 思い出に残る、お誕生日会を

ジャンプチャレンジ企画「KBPP(Kids Birthday Party Project)」による夏合宿が、お盆休みの間に行われました。園児1人1人の記憶に残る、お誕生日会を開催したいという思いから、パネルシアター・ブラックシアターなど、ユニークな教材が製作されました。一つ一つの手作りの教材には、こども達の笑顔が見たいという学生の思いが込められています。



★琵琶湖での ワークショップ授業

8月下旬、ジャンプチャレンジ企画「ワークショップキャラバン隊」が琵琶湖を拠点とし、滋賀県内の小学生を対象にワークショップ授業を開催しました。琵琶湖という水資源の豊かさや、湖に潜む生物や生態系を生徒に伝える授業を展開し、プランクトンの観察や児童と乗船体験など、実りある課外活動を実施しました。



★夏の始まり！ レジャー体験！

夏休みが始まった8月11日（木）・山の日、長野県白馬村で「夏のレジャー体験」が行われました！今年からの新企画で、県内では体験できない、気球体験やラフティング体験などを行い、夏のイベントを満喫してきました！また、夜はバーベキューをしながら火起こしに挑戦したり、サバイバル術も伝授された1泊2日の合宿となりました。



★国際大会・全国大会出場おめでとう！

【トランポリン部】

・第31回オリンピック競技大会
（2016/リオデジャネイロ）出場
中野 蘭菜（人間科学部1年次）
・2016ワールドカップボルトガル大会 出場
堺 亮介（人間科学部1年次）

【剣道部】

・第64回全日本学生剣道選手権大会
個人戦 出場
小村 豪志（人間科学部4年次）
平野 凡子（人間科学部3年次）

【硬式テニス部】

・第60回全日本学生テニス選手権大会
女子シングルス/女子ダブルス 出場
堀 綾香（人間科学部3年次）
平田 奈菜（人間科学部3年次）
中川 愛菜（人間科学部3年次）
新井真由佳（経済学部3年次）

【空手道部】

・第60回全日本学生空手道選手権大会
個人組手 出場
松本 匠生（経済学部3年次）
金井 香葉（経済学部3年次）
紺谷 優希（経済学部1年次）
大江田智代（人間科学部1年次）

【陸上競技部】

・第3回世界ろう者陸上競技選手権大会
1500m 3分54秒11 優勝（日本ろう記録）
森光 佑矢（人間科学部3年次）
・第85回全日本学生陸上競技対校選手権大会 出場
松井 俊憲（人間科学部4年次）やり投
吉田 里穂（人間科学部4年次）5000m
大田 和宏（人間科学部3年次）走高跳
清水 奨太（人間科学部3年次）走幅跳
武部 真央（人間科学部3年次）100mH
大澤 啓太（人間科学部2年次）110mH



★白熱！ クラス対抗体育大会

7月13日（水）・14日（木）の2日間、体育大会を行いました。ドッジボール、バレーボール、3年女子卓球、バドミントン、サッカー、バスケットボールなど、各競技で熱戦が繰り広げられ、クラス対抗ならではの応援陣もより一層その場を盛り上げました。



★ 高 海外語学研修

7月31日(日)～8月11日(木・祝)にかけて、2年生16名がオーストラリア語学研修に参加しました。クイーンズランド州ブリスベンにてホームステイを行い、午前は語学学校で様々な国の学生と英語の授業、午後は大学見学、高校訪問、市内観光などのアクティビティを楽しみました。生徒は英語でのコミュニケーションを楽しみ、日本とは違う形式の授業にも積極的に参加していました。現地の学生と触れ合う機会も多く、異文化理解という観点から大変貴重な経験となりました。



★ 高 エンパワーメントプログラム

8月1日(月)～5日(金)の5日間にわたり、1年Aコースを対象にエンパワーメントプログラムを行いました。

2名の外国人ファシリテーター(進行役)のもと、カリフォルニア大学などからの留学生14名が、それぞれ5～6名の生徒のグループに入り、ディスカッションを行いました。プログラム中はすべて英語で会話し、金沢の観光業、18歳選挙権や文化の違いを留学生と話し合いました。最終日には、プログラムで得た成果や目標などをそれぞれプレゼンテーションし、語学力と自己表現力を磨くよい機会になりました。



★ 高 1年関東方面大学見学会 2年関西方面大学見学会

8月5日(金)・6日(土)に1年生21名が関東方面大学に、また8月8日(月)・9日(火)に2年生87名が関西方面大学の見学にそれぞれ行きました。1年生は、各大学のオープンキャンパスや、現役大学生によるキャンパスツアーを体験し、2年生は大阪大学や神戸大学の施設見学、本校卒業生との交流会などさまざまな企画に参加してきました。1・2年生とも、大学受験や今後の学習に向けての目的意識をより明確にできた見学会になりました。



★ 高 1・2年Pコース課外実習

8月29日(月)・30日(火)、1年Pコース62名が白山登山、2年Pコース98名が岐阜県長良川へ課外実習に行きました。

1年生の白山登山は、悪天候のため山頂からの景色は、残念ながら雲海に遮られてしまいました。自然の厳しさと力強さを再確認した実習になりました。

2年生は、小滝の岩肌を登ったり、滝つぼへジャンプをしたりするシャワークライミングと、大きなゴムボートで仲間と力を合わせて急流を下るラフティングの体験を行いました。日常とはかけ離れた大自然を全身で体感し、仲間との親睦を深める楽しい実習となりました。



★ 高 星稜祭

9月8日(木)・9日(金)の両日、星稜祭を行いました。55回目の今年は「アモレ」というテーマで開催しました。模擬店や文化部の発表展示のほか、稲置記念館では演劇やダンスの他、今年度は「Little Glee Monster」のライブがあり会場を沸かせました。また第一体育館や特設ステージでは、カラオケ大会などの各種イベントがあり、大いに盛り上がりました。



★ 中 歌に夢をのせて 合唱コンクール開催!

7月13日(水)、稲置記念館において第16回星稜中学校合唱コンクールが行われました。各クラス、課題曲「Believe」と自分たちで選曲した自由曲の2曲ずつを歌い、これまでの練習の成果を披露しました。どのクラスもクラスの特徴が表れた素敵なハーモニーでしたが、金賞は、さすが3年生という貫禄と一体感を見せた3Aが獲得しました。



金賞

3年A組 瞳

銀賞

2年A組 春よ、来い

銅賞

3年B組 チェリ

「天歌無双」2Aだけにしか歌えない優勝歌を

「届け、声の宅急便」3Bの勝時間

1年B組 遥か

「声良忠楽行 感歌声勝」

2年B組 ありがとう

「覇歌」

1年A組 365日の紙飛行機

「つかみとれ!天歌統」

※「内はスローガンです。」

★ 小さな友達たちと！ 幼稚園訪問

2年生が、星稜大学附属星稜幼稚園への幼稚園訪問を行いました。最初は少し緊張気味だった生徒たちも、園児たちの屈託のない笑顔にすぐに打ち解け、一緒に積み木で遊んだり塗り絵をしたりなど、楽しいふれあいの時間を過ごしました。



★ 高 しばやく、安全確保！ 防災訓練実施！！

大地震が発生したという想定で、県民一斉に各場所で行った安全行動を行う県民一斉防災訓練「シェイクアウト石川」に今年も参加しました。朝の放送後「しゃがむ」「隠れる」「じっとする」の安全行動を生徒に取らせ、日頃から地震に備えておく意識ができました。



★ 高 6月中旬からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

第98回全国高等学校野球選手権石川大会

・優勝

全国高等学校総合体育大会陸上競技選手権大会

・女子走幅跳 第10位 吉岡 美玲

第134回北信越地区高等学校野球大会

・優勝

第41回全国高等学校トランポリン競技選手権大会

・個人競技男子の部 第5位 新谷 亮介

・第7位 山田 大翔

・個人競技女子の部 第7位 杉谷 櫻花

◇シンクロナイズド競技

・女子の部 第2位 杉谷・谷口空

・男子の部 第2位 山田・新谷

第3位 伊藤・中野

◇団体競技

・男子の部 第2位 山田・伊藤・新谷・中野

・最高演技点賞 伊藤 祐規

第55回北信越高等学校陸上競技対抗選手権大会

・女子走幅跳 第1位 吉岡 美玲

・女子1500m 第3位 戸部 千晶

・女子総合 第3位

・女子200m 第1位 柳谷 朋美

・女子3000m 第3位 戸部 千晶

・女子100m 第3位 柳谷 朋美

北信越高等学校体育大会第26回ソフトボール選手権大会

・男子2部 優勝

第52回北信越高等学校サッカー選手権大会

・第1位

平成28年度北信越高等学校体育大会

◇レスリング競技

・個人対抗戦 96kg級 第1位 高山 真平

・個人対抗戦 60kg級 第1位 貞 亮真

・個人対抗戦 55kg級 第3位 中村 晟笙

・個人対抗戦 50kg級 第3位 中村 晟悠

第18回石川県高等学校ゴルフ選手権大会

・男子個人 優勝 丸一 千紘

・男子個人 第3位 浅香 昇吾

・男子団体 優勝 北村・丸一・浅香

平成28年度石川県高等学校総合体育大会

◇水泳競技

・男子100m自由形 第3位 朝比奈睦寛

・男子200m平泳ぎ 第3位 森 優之介

・女子50m自由形 第3位 篠井 奈美

◇サッカー競技

・男子の部 優勝

・女子の部 準優勝

◇レスリング競技

・96kg級 優勝 高山 真平

・60kg級 優勝 貞 亮真

・55kg級 準優勝 中村 晟笙

・50kg級 準優勝 中村 晟悠

・学校対抗戦 準優勝 星稜高等学校

◇ソフトボール競技

・男子の部 第2位

◇バレーボール競技

・女子の部 準優勝

◇弓道競技

・団体男子の部 優勝

・団体女子の部 第3位

◇体操競技

・男子ゆか 優勝 川崎 晃

・男子鉄棒 優勝 川崎 晃

・男子個人総合 優勝 川崎 晃

◇空手道競技

・女子個人 形 準優勝 小山 麗

・女子団体 組手 準優勝

・女子団体 形 第3位

◇トランポリン競技

・Aクラス 男子個人 第3位 山田 大翔

・Aクラス 女子個人 優勝 杉谷 櫻花

・Aクラス 男子団体 第2位 宮野・山田・伊藤・和田

・Aクラス 女子団体 第2位 谷口夏・武原・杉谷・谷口空

・男子総合 第2位

・女子総合 第2位

◇テニス競技

・男子団体 第3位

第38回全国高等学校小倉百人一首かるた選手権大会

・C級 第3位 河西 まどか

第40回全国高等学校総合文化祭

◇自然科学部門 天文部

・研究発表 文化連盟賞

◇将棋部門

・女子個人 第3位 河内 瑠美

第29回全国高校将棋竜王戦石川県大会

・優勝B級 結城 諒

・準優勝B級 川野 楓

・第3位B級 石橋 佑弥

・第3位B級 井上 耀太郎

・第3位A級 河内 瑠美

第83回NHK全国学校音楽コンクール石川県コンクール

・高等学校の部 銅賞 合唱部

平成28年度石川県高校放送コンテスト

・朗読 優良賞 放送部 中島 未宙

第36回石川県高等学校総合文化祭

・最優秀賞 演劇部

第58回石川県合唱コンクール

・金賞

第24回石川県高等学校声楽コンクール

・第4位 鶴岡 夢里

第64回石川県吹奏楽コンクール

・高等学校A部門 銀賞

【星稜中学校】

第33回全日本少年軟式野球大会

・優勝

第1回中部中学校ゴルフ対抗戦兼

全国中学校ゴルフ選手権団体の部中部地区予選

・優勝 仙波 瑞希・川端 涼香・大宮 佳子

第2回全日本トランポリン競技ジュニア選手権大会

・男子個人13才～15才の部 第5位 井関 駿太

・女子個人13才～15才の部 第6位 森 ほか

・最高演技点賞 井関 駿太

第62回全日本中学校通信陸上競技大会石川県大会

・男子共通110mH 第2位 又多 弥羽

・男子共通走高跳 第5位 渡辺 孝宏

・男子共通砲丸投げ 第8位 宮坂 綸宝

・女子共通1500m 第3位 荒木 瑞帆

・女子共通800m 第3位 高山 聖葉

・女子3年100m 第3位 藤家 麻鈴

・女子1年100m 第2位 又多 紅樹

第15回石川県ジュニアゴルフ選手権

・男子 12歳～14歳の部 第2位 曾山正太郎

・女子 12歳～14歳の部 第3位 川端 涼香

第33回石川県ジュニアトランポリン競技選手権大会

・ハイクラス中学生女子の部 優勝 野村菜月美

第34回石川県中学校選抜混成競技大会

・女子1年三種競技 優勝 又多 紅樹

第42回中部ジュニアゴルフ選手権競技北陸地区予選

・男子12～14歳の部 第2位 灰谷 幸家

・女子12～14歳の部 第3位 大宮 佳子

幼稚園
★「KAPLA」で遊ぼう★

7月16日(土)アトリエ・カブラ代表KAPLA
社公認インストラクターの富安智子氏をお招き
し、ワークショップを開催しました。年長児・年
少児の親子28組が参加し、幼稚園で日頃から遊
んでいるKAPLAを保護者の方と一緒に楽しみ
ました。一枚の板から「街」「かまぐら」「陸橋」
ができ、大きな達成感とみんながながる心地よ
さを味わう貴重な体験となりました。



☆わくわくお泊り保育☆

年長児がお泊り保育に参加しました。おうち
の方から離れて、ときどき・わくわくの一日。

一緒に布団を敷いたり、夕暮れ時の園庭で宝
探しをしたり、みんなで一緒に夕食後のデザー
ト作りを楽しみました。眠るときはお父さんや
お母さんがそばにいないからちょっぴり不安、
でも先生やお友達が隣にいるから嬉しくて、気
がつけばみんな夢の中。翌朝、元気に起きてきた
子ども達の顔は誇らしげで、大切な思い出にな
りました。

☆元気に遊ぼう☆

幼稚園の園庭にある築山がこの夏パワーアッ
プしました。思い切り水遊びが楽しめる「じゃぶ
じゃぶ池」と「ガチャポン」が新設され、高く
なった築山を丸太の階段で登ったり下りたり、泥
んご遊びも感触を楽しみながら思う存分できる
ようになりました。子ども達の好奇心を育て、体
力とバランス感覚を養い、友達との仲間意識が育
まれる園庭。今日も元気な声が響きます。



幼稚園
★「もういいかい?」「まあだだよ」(年少組)★

お母さんと一緒にかくれんぼをして遊びまし
た。「もういいかい?」「もういいよ」子どもたちは
嬉しそうに自分のお母さんを探します。見つけた
後は「頑張って見つけたね♡」とこぼれおちる
♡に笑顔いっぱいの子も。次は子ども達が隠
れる番☆あれ?体が丸見えだと子どもは全
部隠れているつもり♡待ちきれなくて「ここだ
よ!」と飛び出す子も。3歳児ならではの姿が
沢山見られたかくれんぼでした☆



☆ドキドキ・ワクワク

★お泊り保育(年長組)★

子ども達がみんなで計画したお泊り保育。「何
しようか?」「夜ご飯何食べる?」とワイワイ賑
やかに話し合い、夕食は焼きそば、サラダ、フ
ルーツ盛り合わせに決定!!

当日はグループに分かれてお買い物。みんな
で楽しくクッキング。夕食の後はドキドキ幼稚園
園探検☆始めはドキドキしていた子ども達だん
々ワクワクに変わり、楽しい日になりました。翌日
はお泊りができた達成感からか、すがすがしい
表情の子ども達。ぐんとひとまわり大きくなっ
たように見えました。



☆32年間続く同窓会☆

卒園生の小学1年生〜6年生までの子ども達
を招待し、毎年恒例の同窓会をしました。久し
ぶりに幼稚園に来た子ども達は椅子や滑り台な
ど「こんなに小さかったっけ?」と話しながら幼
稚園を懐かしんでいました。昨年までは冬に企
画していましたが今年は夏に行い、キッズクラブ
と合わせて学年別にスライム作りや版画作り、
またフチ科学で遊ぼうと題し、マジックを見たり
体験したりと先生達と一緒に楽しく過ごしまし
た。久しぶりに会う友だちともワイワイお喋り
したり遊んだり嬉しそうなお泊り保育でした。
32年間も続いている同窓会☆今年も106
名の参加がありました。県外からも毎年楽しみ
に来てくれる卒園生もいます。



北國銀行で活躍する 「星稜」の卒業生



金沢西部エリア
保古町支店長
吉竹 美雪
(星稜高等学校 第26期卒)

女性が働きやすい環境で お客さまに寄り添う営業を

星稜高校を卒業後、北國銀行に入行し今年26年目を迎えました。入行後は主に窓口業務やファイナンシャルプランナー業務といった個人のお客さま向けの営業を担当し、今年の4月から保古町支店に勤務しています。

女性活躍推進法の後押しもあり、当行も女性が働きやすい環境の整備に力を入れて取り組んでいます。私が入行した当時は出産を機に退職する女性がほとんどでしたが、現在は出産後も勤務を継続しキャリアアップを目指す女性が多くなりました。家庭と仕事の両立は簡単ではないと思いますが、日々

の業務に前向きに取り組み、自宅に戻ってからも子育ての隙間時間を利用して自己研鑽に励む彼女たちはとても生き生きと活躍しています。そんな女性たちの頑張りに応えようと、時短勤務制度の導入や、女性の管理職登用など、会社の方でも積極的に女性の活躍を後押ししてくれています。

私が携わっている個人営業を分かり易く言い換えると「豊かな人生をお送りいただくためのお手伝い」といったところでしょうか。お客さまから信頼され、極めてセンシティブな情報や本当の「想い」をお聞きして初めてお客さまに寄り添ったお手伝いが出来ます。その為には「コミュニケーション能力」「人間力」「雑談力」の3つは欠かせないと思っています。信頼を得るまでには、お客さまとの壁を取り除くための雑談や、「この人なら相談してみたい」と思わせる人間的な魅力、そしてそれらを伝える力が欠かせません。言葉では簡単ですが、実践はとても難しく、永遠のテーマのように感じながら日々取り組んでいます。

学生の皆さんにも、今しか出来ない事を逃さず、色々な事に興味を持ち、経験し、人としての幅を広げ、3つの力を育てて頂きたいと思っています。皆さんのご活躍をお祈りしております。



一緒に守りたい、今日があります。
ともに創りたい、未来があります。

ふるさとの今日を、明日につないでいく。
地域のみなさと、未来をひらいていく。
ふるさとに暮らす人々が、
今日も、明日も笑顔で過ごすことができるように。
北國銀行は、これまでもこれからも
地域とともに歩む銀行であり続けます。

ナオミの力

相談現場から見える 子どもの心理と親の役割



寺井 弘実
(金沢星稜大学人間科学部教授)

現代の情報社会と子育て

現代の親たちはどのような気持ちで子育てをしていると皆さんは考えていますか？

マスコミ報道で流布されているような「虐待行為」が多くの家庭で起こっていると考えていますか？ 答えは「NO」です。現代ほど、親が子育てに対して真剣であり、そして、何よりも疲労し戸惑い・不安を抱えて子育てをしている時代はないと私は思っています。

0歳児から3歳児の子どもが親子で利用している子育て支援センターで母親たちにアンケート調査すると、「子育ては想像していた以上に母親への負担が大きすぎる」と精神的・肉体的疲労感を訴えており、また、周りの子どもたちと「言葉の数」「行動面の落ち着き」等を比較して、「わが子の発達は遅れていないか？」と常時不安感を抱えながら子育てをする母親たちの実態が見えてきます。

昨年、2歳児を持つ母親の相談を受けました。0歳児の時に風船におびえる子どもの様子を見て不思議に思い、「0歳児 風船おびえる」をインターネットで検索してみると、「自閉症」という文字が見え、それ以来発達に問題があるのでは？と不安感を抱えたまま子育てをしてきた母親でした。子どもは恥ずかしがり屋さんで、新しい場面に積極的に入ってい

くタイプではありませんが、回りの状況を見て慎重にゆっくりと行動していました。「子どもが出すサインをゆっくりと見てください。サインを出していますよ」と伝えました。乳幼児期は「大人が子どもに合わせる関わり」が重要であり、その体験が子どもの心を育てるのです。

現代社会は、処理できないような多くの情報を流し、かつ瞬時に応答を求められる社会です。子どもに合わせたゆっくりとした関わりが必要な子育ての方向性とは異なります。

「子どものペースに合わせる関わり」の大切さを親は忘れないようにしたいものです。

小中学校での相談

小中学校での相談は、「不登校」の問題が多くなります。しかし、同じ「不登校」ですが、子どもの年齢によつて、「子どもの心理的理解」は異なります。小学1年生～4年生は「家庭内での成育の問題」を考えながら子育てを振り返り、関わりを補充していく方法を一緒に考えています。小学5年生～6年生では「前思春期の心理」、中学生では「思春期の心理」を考えながら相談者の話を聴いています。もちろん、子ども自身の発達の偏りや遅れの問題も考えながらです。

思春期は「心の嵐の時期」ともいわれ、心が大きく変化していく不安定な時期です。この思春期が10歳ごろから始まり、小学校5年生が思春期の入り口（前思春期）になります。私は小学校5年生を対象にして、「思春期の心」という内容で講話をしてきています。

後のアンケートには、「最近、お母さんの言葉が素直に聴けなくなった」「友達との付き合いが難しく感じている」等の思春期特有の感想が率直に語られています。中学生にも同様の講話をしますが、思春期真只中の年齢よりも、思春期の入り口にいる年齢の子どものほうが「心の変化」を敏感に感じて文章にしてくれるように思います。

思春期に「生きづらさ」を感じてしまうことは「ごく普通の心理」であり、学校という大きな集団での生活がつらくなったとき、そんな時こそ「人に頼ることの大切さ」を伝えたいという思いでも話をしています。

そして、親は、子どもがピンチになったときこそ、全般的な味方になってほしいと強く願っています。

医療機関の相談

高校生はすでに思春期の後半で青年期に向けて進路に悩む時期です。「なりたい自分」と

「現在の自分」の距離が近ければ「葛藤」は少ないですが、隔たりがあると「苦悩」します。

精神疾患が発症する年齢でもあり、精神的不調を訴えて多くの高校生が心療内科を受診して服薬している現状があります。服薬の助けを借りることも大切ですが、「苦悩」にしっかりと耳を傾ける大人も必要です。親の関わりかたを医療機関と相談しながら考えていくことが重要になります。

「子どもの心は関わりを体験して成長する」ということを、親は忘れてはいけなく相談業務をしながら痛感しています。



〈活動中の主な事業〉

電動アシスト自転車を用いた散在する観光素材の有効活用について

地域課題研究ゼミナール支援事業(大学コンソーシアム石川地域連携事業)

榊 富雄 特任教授(経済学部)

地域から提示されたテーマに対して、本学のゼミナールの専門性を活かし、地域課題の解決に向けた研究活動を行うことにより、地域の活性化を図ります。

佐野経済学部准教授、北陸大学の長谷川ゼミナールと連携して実施します。

経済学部経済学科3年次 齋藤 俊也

榊ゼミでは、JR西日本や石川県観光戦略推進部の「北陸カレッジ」事業に協力し、和倉温泉を中心として電動アシスト自転車で巡る観光コースの作成を行っています。8月下旬に県外の大学生とともに現地調査を行いました。

能登島地区、七尾市街地区、田鶴浜地区の3チームに分かれ、事前調査に基づいて想定したコースを自転車で巡りました。私は七尾市街チームで、往路は良かったのですが、クロスバイクだったので帰りは疲れました。行ったところは一本杉通りや花嫁のれん館で、若者が楽しめないかなと思っていたら、ボランティアガイドさんが楽しく教えてくれたので良かったです。

最後にチームごとに検討して報告書にまとめる準備作業と中間報告会を行い、地元の方々からも「参考になった」と喜んでいただきました。

今後は来年2月の大学コンソーシアム石川の成果報告会に向けて活動を続けていきたいと思っています。



能登・祭りの環インターンシップ事業

能登キャンパス構想推進協議会委託事業

池田 幸應 教授(人間科学部)

地域の特性、魅力、背景・実態、地域の課題等について学ぶとともに、奥能登地域の魅力を発信し、地域課題の解決策に取り組みます。

人間科学部スポーツ学科3年次 木道 尚希

池田先生から声をかけられたのが、このインターンシップに参加したきっかけです。私自身地域交流に興味があり、人と話すのが好きなので、祭りを通して地域の方々と接することができるこのインターンシップは自分に合っていると思い参加を決めました。

一人ひとりができることは小さいことですが、意見を出し合って力を合わせれば大きなことを成し遂げることができることを学びました。

また、行動力やコミュニケーション力の向上を実感しました。行動力が身についたことで、積極的になり、より多くの人と話すことができたと思います。

この経験を今後の学生生活や卒業後に活かしていきたいです。



課題解決型フィールドスタディ～奥能登インターンシップ～

大学間連携共同教育推進事業

西村 貴之 講師(人間科学部)

現在、社会で求められている「課題解決型グローバル人材」として必要な能力を身に付けるための教育プログラムです。現地に6日間滞在し、聞き取りや各所の視察により地域の現状を理解し、今後の取組に向けた一方策を提案します。

経済学部経済学科3年次 金瀬戸 亜紀

わたしは七尾市の大呑地区で、8月30日から9月4日にかけて、金沢大学と金沢星稜大学の3名の学生と一緒に奥能登インターンシップに参加しました。そこでは大呑地区の生業や暮らしを体験し、人を呼び込むためのツアープログラムの作成と宿泊施設について提案することを目的に活動しました。

滞在中は大呑地区に根付く生業としての林業や漁業、古くから伝わるわら草履づくり、笹寿司づくりなど、実際に山や海に行き、また地域の方々と触れ合いながら様々な体験をすることが出来ました。実際に地域に入り込み、その地域の特色に触れるということは、とても貴重な経験になりました。

今回のインターンシップを通して、自分自身の成長にもつなげるとともに、自分たちの提案が大呑地区の方々に何らかのきっかけを与えることが出来たのではないかと思います。



奥能登国際芸術祭に於けるアートプロジェクト

地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)

池上 奨 教授(人間科学部)

「地域定着就労促進」を目標とした教育プログラム事業で、奥能登珠洲市において、現地調査を行い、使用されていない住居、商業施設、廃校となった小学校などで、その場の空間を取り込んだアート作品を地域の住民と連携して製作するアートプロジェクトです。

人間科学部こども学科4年次 中野 奈津子

8月8日～12日にかけて、来年開催される奥能登国際芸術祭のインターンシップに参加しました。参加を決めた理由として、これまで珠洲市でゼミ活動を行った経験から珠洲市が好きになり、またゼミで学んだことを活かすことができると思ったからです。

主に、現在使われていない住居や廃校になった小学校、駅などの現地調査を行いました。その中で感じたことは、芸術祭を行うにあたって地域住民の協力が欠かせないということです。作品を作るアーティストとそこに住む地域住民との協働があって初めて、地域資源の魅力を再発見することに繋がると考えます。

この奥能登国際芸術祭を通じて、珠洲市の魅力的な自然や伝統文化を各地に発信することで地域活性化に貢献できると考えます。そのために私も芸術祭サポーターとして参加したいと思っています。



皆様初めまして。流星祭実行委員会 委員長を務める坂川裕大です。

今年度も11月4日(金)～6日(日)において、「流星祭」が開催されます。

第15回流星祭、今年のテーマは「colorFull」です。色を表す「color」と「みんな」や「全力」を表す「Full」を併合し、色彩を表す「colorfull」という言葉に掛け合わせました！

このテーマの如く、実行委員1人1人の色を出し、全力で最高の流星祭を作り上げます！

そして、ご来場いただくすべての方々に感動を与えられる学園祭にいたしますので、皆様ぜひ、ご来場ください。

流星祭実行委員長 坂川 裕大(経済学部3年次)



流星祭のHPでも、随時情報を更新しておりますので、ご覧ください。

<http://ryuuseisai.com/>



Seiry Street企画 地域活性化サポートプロジェクト in 東金沢

7月3日(日)～7月31日(日)に東金沢駅2階連絡通路で、「思い出をつめこもう!」をテーマに、コンコース壁画、巨大オブジェを展示しました。当日、子どもから大人まで地域からの参加者、本学学生、教職員らが持ち寄った様々な品に、ピンク・オレンジ・ブルー・ホワイトの好きな色を塗る作業から始まり、製作したオブジェを東金沢駅へ設置しました。設営中、駅を利用する方々が足を止め作業を見ている姿もあり、設置後は色鮮やかな品々が箱の中に納まりました。



Seiry Street企画 Seiry 美化活動

8月18日(木)、Seiry Street企画の活動として、大学本館横の金腐川清掃を実施しました。天候にも恵まれ、学生、教職員ともに普段は見えない景色、経験に終始楽しく取り組むことが出来ました。「ゴミはこんなところに捨てなければいいんですね」といった学生の一言に、当活動の意義を強く感じる、そんな一幕もありました。



星稜サ・エ・ラに関するアンケートへのご協力をお願い

いつも『星稜サ・エ・ラ』をご愛読頂き、誠にありがとうございます。
毎号の内容に関する皆様からのご意見を「Webアンケートフォーム」を通じて頂戴し、本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方、抽選で100名様にQUOカード(500円分)をプレゼントいたします。
右記QRコードから、アンケートへの回答をお願いいたします。



抽選で100名様に
QUOカードをプレゼント!

行事スケジュール (10月～12月)

金沢星稜大学

10	5日(水)	通常講義日(創立記念日)
	10日(月・祝)	通常講義日(体育の日)
	15日(土)・29日(土)	補講日
11	4日(金)～6日(日)	流星祭
	8日(火)	休業日(10/10授業分)
	19日(土)	補講日、ホームカミングデー(同窓会企画)
12	23日(水・祝)	通常講義日(勤労感謝の日)
	27日(日)	オープンキャンパス(一般入試対策講座)
	17日(土)	補講日
	23日(金・祝)	通常講義日(天皇誕生日)
	27日(火)	休業日(11/23授業分)
	28日(水)～1月9日(月・祝)	年末年始休業日

金沢星稜大学女子短期大学部

10	5日(水)	通常講義日(創立記念日)
	10日(月・祝)	通常講義日(体育の日)
	15日(土)・29日(土)	補講日
11	4日(金)～6日(日)	流星祭
	8日(火)	休業日(10/10授業分)
	19日(土)	補講日
12	23日(水・祝)	通常講義日(勤労感謝の日)
	27日(日)	オープンキャンパス(一般入試対策講座)
	17日(土)	補講日
	23日(金・祝)	通常講義日(天皇誕生日)
	27日(火)	休業日(11/23授業分)
	28日(水)～1月9日(月・祝)	年末年始休業日

星稜高等学校

10	5日(水)	創立記念日
	11日(火)～14日(金)	中間試験
	15日(土)	追試
	17日(月)	進路研究(1・2年、3年P)
	23日(日)	ヒストリカルツアー
11	1日(火)・2日(水)	教育ウィーク(学校・授業公開)
	4日(金)・7日(月)	
	24日(木)・25日(金)	1年期末試験
	28日(月)～30日(水)	
	30日(水)～12月3日(土)	2,3年期末試験
12	12月5日(月)・6日(火)	
	2日(金)～5日(月)	1年修学旅行
	7日(水)	追試
	14日(水)・15日(木)	1・2年体育大会
	15日(木)～17日(土)	保護者懇談会
	16日(金)	再試
	19日(月)	終業式・全国大会出場激励会
	20日(火)～22日(木)	補充・補習授業
	26日(月)・27日(火)	

星稜中学校

10	4日(火)	運動会
	5日(水)	創立記念日
	6日(木)	運動会予備日
	11日(火)・12日(水)	中間試験
	14日(金)	運動会予備日
	15日(土)	学校説明会
	19日(水)～21日(金)	2年修学旅行
	20日(木)	1・3年体験学習
	25日(火)～1月20日(金)	3年補充開始
11	28日(金)	ナイト学校説明会
	1日(火)・2日(水)	教育ウィーク(学校・授業公開)
	4日(金)・7日(月)	
	12日(土)	学校見学会・部活動体験
	30日(水)～12月2日(金)	期末試験
12	1日(木)	ナイト学校説明会
	6日(火)	体育大会
	15日(木)	講演会
	16日(金)・17日(土)	保護者懇談会
	19日(月)	終業式・補充授業
	20日(火)・21日(水)	補充授業

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

10	1日(土)	願書受付
	3日(月)・17日(月)	キッズサッカー
	4日(火)	年中 遠足
	5日(水)	創立記念日
	6日(木)	年少 遠足
	12日(水)	玉川こども図書館出張保育
	15日(土)	サッカー理事長杯(予定)
	18日(火)	ABCランド(参観 つき)
	19日(水)	星稜子育てステーション(2歳)
	20日(木)	星稜子育てステーション(0歳)
	25日(火)	ABCランド(参観 ほし)
	26日(水)	子育てステーション(1歳)
11	28日(金)	誕生会参観
	2日(水)	星稜子育てステーション(2歳)
	9日(水)	玉川こども図書館出張保育
	10日(木)	星稜子育てステーション(0歳)
	16日(水)	星稜子育てステーション(1歳)
	18日(金)	北國銀行 Happy!コンサート
	24日(木)	誕生会参観
12	1日(木)	避難訓練
	3日(土)	表現遊びの会
	6日(火)・13日(火)	ABCランド
	7日(水)	子育てステーション(2歳)
	8日(木)	もちつき
	14日(水)	玉川こども図書館出張保育
	15日(木)	星稜子育てステーション(0歳)
	20日(火)	誕生会参観
	21日(水)	星稜子育てステーション(1歳)
	22日(木)	終業式

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

10	4日(火)	いもほり(年中、年長)
	4日(火)・18日(火)	子育て広場さくらんぼ
	5日(水)	創立記念日
	6日(木)	親子遠足(年長、年少組)
	7日(金)・14日(金)	子育て広場ひまわり
	21日(金)・28日(金)	
	11日(火)	ABCランド
	12日(水)	いもほり予備日
	12日(水)・19日(水)	子育て広場ひまわり
	26日(水)	
	13日(木)	リトミック
	15日(土)	サッカー理事長杯(予定)
11	24日(月)・31日(月)	キッズサッカー
	27日(木)	誕生会参観
	29日(土)	土曜活動
	1日(火)・29日(火)	ABCランド
	2日(水)・9日(水)	子育て広場ひまわり
	16日(水)・30日(水)	
	4日(金)・11日(金)	子育て広場ひまわり
	18日(金)	
	7日(月)・30日(水)	キッズサッカー
	8日(火)・22日(火)	子育て広場さくらんぼ
	18日(金)	北國銀行 Happy!コンサート(年中、年長)
	25日(金)	表現あそびの会
12	28日(月)	誕生会参観
	2日(金)・9日(金)	子育て広場ひまわり
	16日(金)	
	5日(月)	キッズサッカー
	6日(火)・20日(火)	子育て広場さくらんぼ
	7日(水)・14日(水)	子育て広場ひまわり
	8日(木)	リトミック
	15日(木)	誕生会参観
	19日(月)	ハローサンタの会
	20日(火)	ABCランド
	21日(水)	もちつき
	22日(木)	終業式

あとがき

大きな感動と共にリオオリンピックが幕を閉じ、秋空高く、爽やかな季節となりました。
この夏、星稜中学校野球部が9年ぶりに全国制覇を成し遂げました。監督・コーチのご指導、選手たちの練習の積み重ね、チームワーク、保護者をはじめとする周囲の方々のご協力があり、「星稜」に素晴らしい歴史が刻まれました。
勉強・部活・就職など、それぞれ目標は違いますが、自分で決めた目標に向かって努力をし、その先にある達成感を存分に味わってほしいと思います。

法人事務部 財務課 辻屋美貴子

Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町丑10番地1
TEL 076-253-3924(代表)
(大 学) <http://www.seiryo-u.ac.jp/u/>
(短大) <http://www.seiryo-u.ac.jp/c/>

星稜高等学校・星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地
TEL 076-252-2237(代表)
<http://www.seiryo-hs.jp>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町寅27番地
TEL 076-252-5057(代表)
<http://kinder.seiryo.jp/seiryo/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号
TEL 076-244-5636(代表)
<http://kinder.seiryo.jp/izumino/>